

で実用化に取り組む構え
だ。

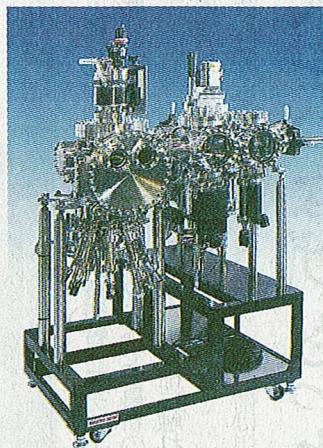
有機EL、寿命5倍に

内壁の水分除去徹底

【金沢】北陸先端科学技術大学院大学（石川県能美市）と研究機器を製造販売する北野精機（東京・大田、北野雅裕社長）は共同で、有機EL（エレクトロ・ルミネッセンス）素子の寿命を従来の（ λ は十億分の一）メートルサイズの薄膜を形成する真空蒸着法という手法で製造する。

北陸先端大の村田英幸准教授（北野精機の研究グループは、真空蒸着中にも導入、水分を徹底的に取り除く「ベーキング処理」をする仕組み）が存在する微量の水分がその結果、有機ELの明るさが半減するまでの時間が六千時間だったため、装置の有機ELについて、その時間を五倍弱の二万九千時間にすることに成功したという。

有機ELは電圧をかけると発光する樹脂の一種で、次世代の照明器具や液晶パネルなどへの活用



水分をほぼ完全に飛ばせる真空蒸着装置

北陸先端大は新しい製造技術について、寿命を延ばすほかに、歩留まりの改善やコスト削減につながるとみている。今後大手メーカーなどと組ん